

# 平成 24 年度 第 3 回 鹿児島市地域情報化推進委員会

平成 24 年 11 月 7 日（水）9：30～11：00

東別館 9 階 特別中会議室

## 会 次 第

### 1 第三次鹿児島市地域情報化計画の素案について

#### 配布資料

【資料 1】第三次鹿児島市地域情報化計画 素案 概要版（案）

【資料 2】第三次鹿児島市地域情報化計画 素案

【参考資料 1】第三次鹿児島市地域情報化計画策定の考え方

【参考資料 2】第三次鹿児島市地域情報化計画策定事業について

# 第三次鹿児島市地域情報化計画 素案

## 概要版

平成24年〇〇月  
鹿児島市

# 1. 計画の概要

## 1-1. 計画策定の趣旨

「第二次鹿児島市地域情報化計画」(平成20年3月策定)の計画期間(平成20～24年度)の終了後も引き続き地域情報化を推進するため、国の戦略や指針、本市の地域情報化の現状を踏まえた上で、社会経済情勢の変化やICTの進展とそれに伴う市民ニーズの高度化・多様化に対応し、市民生活の利便性向上と地域の活性化を図るために「第三次鹿児島市地域情報化計画」を策定します。

## 1-2. 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「第五次鹿児島市総合計画」に掲げた目標の達成に向けて、これを情報化の側面から支援します。

## 1-3. 計画期間

平成25～29年度までの5年間

# 2. 情報化に関する現状

## 2-1. 国の動向

国は、IT戦略本部において平成22年5月に「新たな情報通信技術戦略」を策定し、「国民本位の電子行政の実現」、「地域の絆の再生」、「新市場の創出と国際展開」の3つの柱を重要戦略とした施策に取り組んでいます。「国民本位の電子行政の実現」の中では、国と地方自治体が連携して取り組む施策として、コンビニエンスストアで証明書が入手できるようにする施策などを推進することとしています。

また、東日本大震災を受け、IT戦略本部では「IT防災ライフライン推進協議会」を設置し、IT防災ライフラインの構築を推進しています。

## 2-2. 本市の取り組みと現状

### (1) 本市のこれまでの取り組み

本市はこれまで「第二次鹿児島市地域情報化計画」において、市民アンケートの結果などから明らかとなった4つの課題(「高齢者のICT利用促進」、「情報の双方向性の活用」、「発信する情報の質の向上」、「地域間格差の解消」)の解消に向けて取り組み、インターネットの利用率が増加するなど、一定の成果を上げています。

《本市の総合計画と地域情報化計画の期間》

	平成 10年度	～	平成 15年度	～	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
総合計画			第四次鹿児島市総合計画 (平成14年度～平成23年度)						第五次鹿児島市総合計画 (平成24年度～平成33年度)						
地域情報計画			鹿児島市地域情報化計画		第二次鹿児島市地域情報化計画						第三次鹿児島市地域情報化計画				
			鹿児島 地域ITプラン2.1												

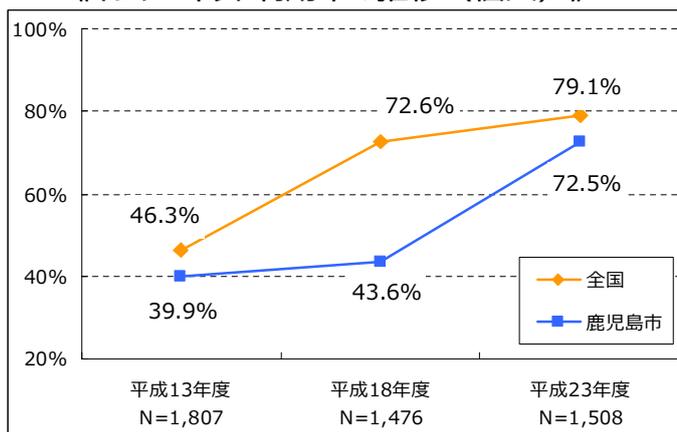
## (2) 本市の情報化の現状

本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向性についての指針となる本計画の策定に活用するため、情報通信機器やインターネットの利用状況、ICT施策に関する市民の意識調査（「鹿児島市の情報化に関する市民意識調査」）を平成23年度に実施しました。

### 《調査概要》

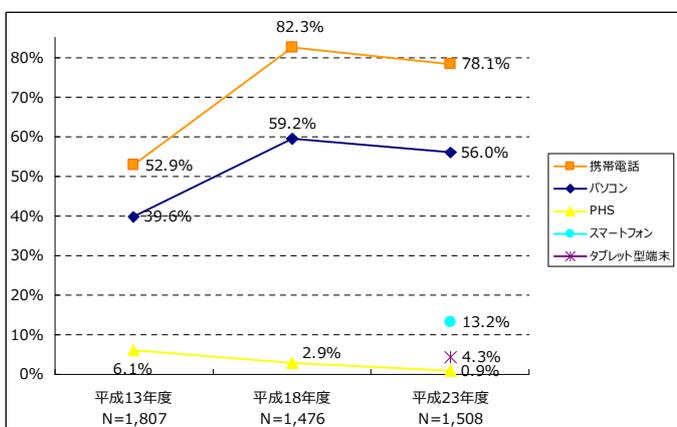
調査対象者 : 16歳～79歳の鹿児島市民、総数3,200名  
有効回答者数 : 1,584件（回答率49.5%）

### 《インターネット利用率の推移（個人）》



前回18年度調査と比較して、本市のインターネット利用率（個人）は43.6%から72.5%と28.9ポイント増加し、インターネットが普及している状況が現れています。

### 《情報通信機器の保有率の推移（世帯）》



前回18年度調査と比較して、本市の情報通信機器の保有率は携帯電話が82.3%から78.1%と4.2ポイント減少、パソコンが59.2%から56.0%と3.2ポイント減少しています。国の調査でも全国的に同様の傾向を示しており、これは従来の携帯電話やパソコンに替わる、スマートフォンやタブレット型端末など、新たな情報通信端末が出現し、普及しつつあることが要因と考えられます。

### 《その他、主な質問内容と回答状況》

質問内容	回答数が多い項目
インターネット利用での不安等	ウイルスの感染が心配である（40.3%）
	個人情報の保護に不安がある（40.2%）
	通信料が高い（25.4%）
情報化に対する不安や不満	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される（42.9%）
	パソコンを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる（42.7%）
	ネットワーク犯罪が増加する（38.4%）

## 2. 情報化に関する現状

### 2-3. 地域情報化推進における課題の変化

#### (1) 市民意識調査等から導き出される今後の課題

**課題1** インターネットの利用者が増加した反面、市民は「情報活用力の格差」、「個人情報の保護」などに不安を感じています。今後、スマートフォンなど新たな情報通信機器の活用が進む中、市民一人ひとりが安心かつ安全にICTを利活用するための対策が必要です。

**課題2** コミュニケーション手段としてSNSなどが注目されており、今後更なる利活用に向けた検討が必要です。

**課題3** ホームページの「みやすさ」、「わかりやすさ」への要望は依然多く、更なる対策が求められています。

#### (2) 国の動向を踏まえ、本市でも今後検討すべき課題

**課題4** 東日本大震災を受け、国のIT戦略本部では「IT防災ライフライン推進協議会」を設置し、災害時の情報提供・発信の手段として、SNSなどインターネットサービスを含めたさまざまなメディアの活用を検討しています。本市においても、災害発生時等の情報提供のあり方の検討が必要です。

**課題5** 総務省においても業務継続とサービス提供の観点から災害等発生時のICT利活用に関する検討を行っています。本市においても、業務を継続して実施するための取り組みが必要です。

#### 《課題の変化》



## 3. 情報化施策

### 3-1. 施策と重点取組項目

#### (1) 施策

本計画では、「第五次鹿児島市総合計画」に掲げる基本目標と基本施策に基づき、関連する分野ごとに情報化の目指すべき方向を定め、14の施策を掲げます。

#### (2) 重点取組項目

本計画では、新たな5つの課題に対応するため、3つの重点取組項目を設定し、本市の地域情報化を推進します。

### ① ICTの安心・安全な利活用の推進

市民等がICTに関する必要な知識と利活用方法を身に付け、ICTを安心かつ安全に利活用するための施策を推進します。

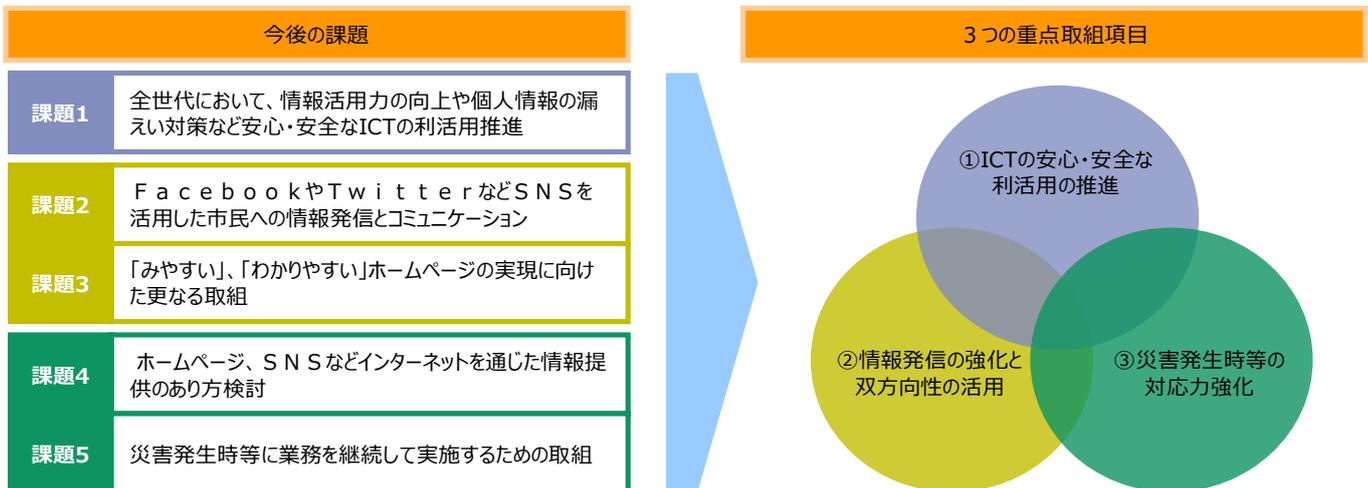
### ②情報発信の強化と双方向性の活用

ホームページの「みやすさ」や「わかりやすさ」の向上への取り組みに加えて、SNSなどを効果的に活用し、より充実した情報提供を図ります。

### ③災害発生時等の対応力強化

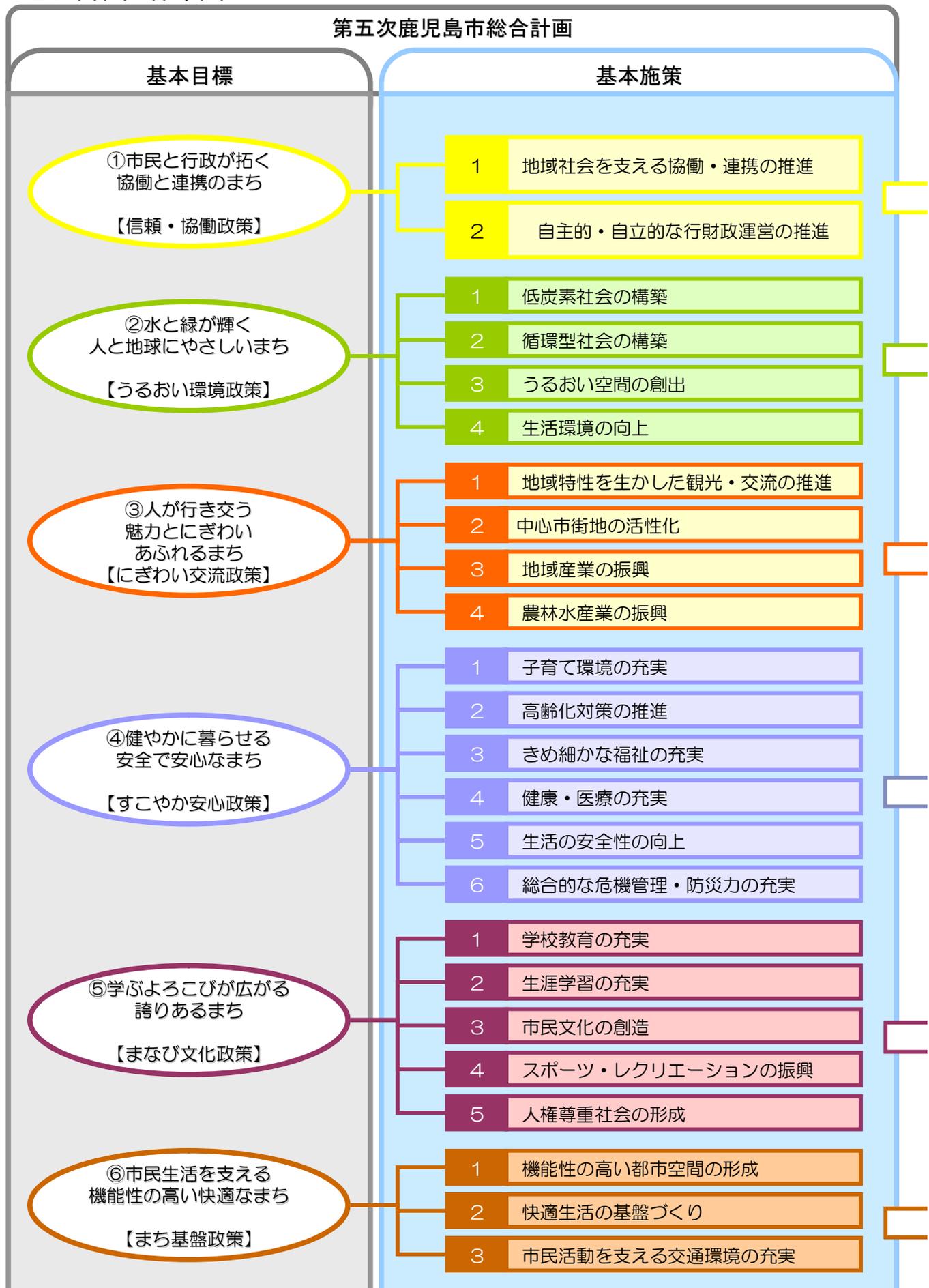
東日本大震災など自然災害による被害が大きく注目され、災害発生時の迅速な対応が必要とされています。本市においても、SNSなどのICTを活用した情報提供のあり方を検討します。また、自然災害のみならず、サイバー攻撃や計画停電時にも継続的に行政サービスを提供するための仕組みや体制などを検討します。

## 《今後の課題と3つの重点取組項目》



# 3. 情報化施策

## 3-2. 計画の体系図



## 第三次鹿児島市地域情報化計画

### I 信頼・協働

1 電子行政の推進

2 地域のICT利活用促進

### II うるおい環境

3 環境に配慮した情報化の推進

### III にぎわい交流

4 観光・交流における情報化の推進

5 地域産業における情報化の推進

### IV すこやか安心

6 ICTを活用した子育て支援の充実

7 ICTを活用した高齢化対策の推進

8 ICTを活用した福祉・医療の充実

9 ICTを活用した  
危機管理・防災力の充実

### V まなび文化

10 学校における情報教育の充実

11 生涯学習におけるICT活用

12 文化情報の発信

### VI まち基盤

13 都市基盤施設におけるICT活用

14 ICTを活用した交通環境の充実

### 重点取組

①市民等がICTに関する必要な知識と利活用方法を身に付け、ICTを安心かつ安全に利活用するための施策を推進します。

(具体策)

- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・高齢者いきいき元気塾におけるICT基礎講座の実施
- ・情報教育(情報モラル等)の充実
- ・インターネットの安全利用に関する啓発
- ・スクール・キャンパス消費生活啓発事業

①ICTの安心・安全な利活用の推進

②情報発信の強化と双方向性の活用

③災害発生時等の対応力強化

②ホームページの「みやすさ」や「わかりやすさ」の向上への取り組みに加えて、SNSなどを効果的に活用し、より充実した情報提供を図ります。

具体策

- ・鹿児島市ホームページの充実
- ・SNS等を活用した市政情報発信の充実
- ・地域コミュニティ連携組織ポータルサイト開設・運用事業
- ・メールマガジンによる観光情報発信の充実
- ・観光ホームページの運営
- ・海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信
- ・外国人観光客受入体制整備事業
- ・子育て支援情報サイトの構築
- ・SNS等を活用した防災情報の発信
- ・インターネットを活用した119番通報の受理
- ・新電車運行情報システム導入事業

③災害時におけるSNSなどのICTを活用した情報提供のあり方を検討します。また、自然災害のみならず、サイバー攻撃や計画停電時にも継続的に行政サービスを提供するための仕組みや体制などを検討します。

(具体策)

- ・鹿児島市ホームページの充実
- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・デジタル防災行政無線の整備
- ・安心ネットワーク119の拡充
- ・消防緊急通信指令システムの再構築(デジタル化対応)
- ・ICT-BCPの策定
- ・SNS等を活用した防災情報の発信
- ・インターネットを活用した119番通報の受理
- ・新電車運行情報システム導入事業

## 3. 情報化施策

### 3-3. 具体策

#### (1) 信頼・協働

##### 施策1：電子行政の推進

重点 取 組	安	I C Tの安心・安全な利活用の推進
	情	情報発信の強化と双方向性の活用
	災	災害発生等の対応力強化

情報通信技術は市民生活の利便性向上などにますます重要な役割を果たしてきています。SNSなど新たな広報手段を活用して市政情報発信の充実に努めるとともに、コンビニでの証明書の交付などを実施し、市民サービスの向上や行政事務の効率化などを図ります。

No.	具体策	
1	鹿児島市ホームページの充実（リニューアル等）	情 災
2	S N S等を活用した市政情報発信の充実	情
3	パブリックコメント手続の意見提出における電子申請（簡易申請）の活用	情
4	鹿児島市総合案内コールセンターの運営（サンサンコールかごしま）	
5	サンサンコールかごしまF A Qシステムの拡充	
6	住民情報系システム最適化事業	
7	コンビニ交付システム構築事業	
8	電子申請システムの拡充	
9	人事評価システムの導入	
10	水道局電算システム再構築事業	
11	統合型G I Sの運用	
12	電子納品の推進	
13	設計書・図面等の電子化による管理	
14	情報セキュリティ対策の推進	安 災

##### 施策2：地域のI C T利活用促進

市民、事業者、行政等の協働・連携による活力ある豊かな地域づくりが求められています。地域コミュニティ連携組織ポータルサイトを通して、市民の地域コミュニティへの参加を促進するほか、I Tフェスタなどのイベントの開催により、市民等の情報活用力の向上を図り、地域のI C Tの利活用を促進します。

No.	具体策	
15	地域コミュニティ連携組織ポータルサイト開設・運用事業	情
16	通信環境の整備	
17	I C T使用のメリット広報	
18	かごしまI Tフェスタの開催	

#### (2) うるおい環境

##### 施策3：環境に配慮した情報化の推進

低炭素社会や循環型社会の構築などが求められています。庁内サーバー統合等による消費電力の削減や環境情報システムによる情報発信の充実などを図ります。

No.	具体策
19	庁内サーバー統合等による消費電力及びC O 2の削減
20	環境情報システムの運用

### (3) にぎわい交流

#### 施策4：観光・交流における情報化の推進

九州新幹線の全線開業などにより、これまで以上に、観光交流都市としての魅力の向上や、受け入れ体制の充実、効果的な情報発信に努める必要があります。新たな観光情報のホームページやメールマガジンなどを通じて、自然、歴史、文化、食など本市の持つ魅力を発信するとともに、観光客が観光情報を入手するための環境整備などを実施し、国内外からより多くの人々が訪れるまちづくりを推進します。

No.	具体策	
21	メールマガジンによる観光情報発信の充実	情
22	観光ホームページの運営	情
23	海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信	情
24	外国人観光客受入体制整備事業	情

#### 施策5：地域産業における情報化の推進

情報通信技術社会が進展していることから、企業などにおいても人材育成などの対応が求められています。情報化に関するセミナーの開催などによる新規創業者等の育成支援や情報関連企業の誘致などを通じて、地域産業の活性化を図ります。

No.	具体策	
25	新規創業者等の育成支援	
26	情報関連企業の立地	

### (4) すこやか安心

#### 施策6：ICTを活用した子育て支援の充実

核家族化の進行や地域住民同士の交流の希薄化が進む中、子育てに関する支援や情報が得にくい環境になっています。ICTを活用して、子育て支援施設や支援団体等の活動の情報を効果的に提供し、親同士、妊婦同士が情報交換し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進します。

No.	具体策	
27	子育て支援情報サイトの構築	情
28	親子つどいの広場へのICTコーナー設置	

#### 施策7：ICTを活用した高齢化対策の推進

高齢化が急速に進む中、高齢者が健康で生きがいを持って生活することが重要であり、今後より一層高齢者の社会参加活動や健康・生きがいづくりを推進していく必要があります。

ICT利用に関する広報活動やイベントの開催を通じて、高齢者のインターネットなどのICTへの関心を高めるとともに、安心・安全な利活用を促進します

No.	具体策	
再掲	ICT使用のメリット広報	
再掲	かごしまITフェスタの開催	
29	高齢者いきいき元気塾におけるICT基礎講座の実施	安
30	(仮)在宅介護支援システム	

### 3. 情報化施策

重点 取組 項目	安	ICTの安心・安全な利活用の推進
	情	情報発信の強化と双方向性の活用
	災	災害発生等の対応力強化

#### 施策8：ICTを活用した福祉・医療の充実

きめ細やかな福祉サービスの充実や安心安全な質の高い医療が求められています。電子カルテシステムの導入など病院機能の充実に努めるとともに、地域医療機関との連携などを図ります。

No.	具体策
31	市立病院電子カルテシステムの導入

#### 施策9：ICTを活用した危機管理・防災力の充実

東日本大震災などを踏まえて、危機管理・防災力の充実が求められています。デジタル防災行政無線の整備や安心ネットワーク119のメールでの災害情報の提供などを通じて、災害時の情報発信強化を図るとともに、ICT-BCPを策定し、災害等発生時に継続して住民サービスを提供するため仕組みや体制を構築します。

No.	具体策	
32	デジタル防災行政無線の整備	災
33	安心ネットワーク119の拡充	災
34	消防緊急通信指令システムの再構築（デジタル化対応）	災
35	ICT-BCPの策定	災
36	SNS等を活用した防災情報の発信	情 災
37	インターネットを活用した119番通報の受理	情 災

### (5) まなび文化

#### 施策10：学校における情報教育の充実

教育用コンピューターの整備を進め、児童生徒の情報教育の推進に努めてきた一方で、情報セキュリティやインターネットのトラブルを未然に防止するための対策などが求められています。児童生徒等の情報活用能力の更なる育成と情報モラルの育成などに努めます。

No.	具体策	
38	学習用・校務用機器等の整備	
39	ICT支援員派遣事業	
40	情報教育(情報モラル等)の充実	安
41	インターネットの安全利用に関する啓発	安
42	スクール・キャンパス消費生活啓発事業	安

### 施策 1 1 : 生涯学習における I C T 活用

生涯学習の活性化のために、学習関連施設や学習情報の充実が求められています。I C Tを活用した施設利用者の利便性向上を図るとともに、情報セキュリティ講座など I C T 関連講座の実施により、生涯学習における I C T の安心安全な利活用を推進します。

No.	具体策
再掲	I C T 使用のメリット広報
再掲	かごしま I T フェスタの開催
43	I C T 基礎講座の実施 <span style="float: right;">安</span>
再掲	高齢者いきいき元気塾における ICT 基礎講座の実施 <span style="float: right;">安</span>
44	生涯学習情報システム利便性向上事業
45	図書館電算システムの運用

### 施策 1 2 : 文化情報の発信

かごしまデジタルミュージアムの充実などを通じて、歴史・文化資産のデジタル化を推進し、本市の貴重な文化芸術を身近に鑑賞できる機会を充実するとともに、インターネットなど I C T を活用した文化情報の発信などを図ります。

No.	具体策
46	かごしまデジタルミュージアムの充実

## (6) まち基盤

### 施策 1 3 : 都市基盤施設における I C T 活用

生活道路や上下水道など市民生活に密着した都市基盤施設などについて、より効率的で効果的な整備や超寿命化などが求められています。

統合型 G I S を活用した配管図等の電子化や I C T を活用した施設の管理（ストックマネジメント）などを推進し、中長期的な視点で効率的な整備を図ります。

No.	具体策
再掲	統合型 G I S の運用
47	ストックマネジメントシステム導入事業
48	指定道路図等整備事業

### 施策 1 4 : I C T を活用した交通環境の充実

九州新幹線の開通により広域交通網の整備が一層進み、県内外からこれまでより多くの人々が訪れ、効率性の高い交通機関が求められると想定されます。I C T を活用して交通事故や自然災害時における運行指示の連絡体制強化や利用者への迅速な情報提供に取り組み、利用者の利便性向上を図ります。

No.	具体策
49	新電車運行情報システム導入事業 <span style="float: right;">情 災</span>

## 4. 計画の推進

### 4－1. 計画の推進体制

本計画においては、庁内体制に加え、産学官の有識者や公募市民で構成された「鹿児島市地域情報化推進委員会」の意見や提言などを踏まえ、情報化施策を推進します。

### 4－2. 計画の進捗状況の管理

本計画に掲げる施策や具体策の実効性を上げるために、P D C Aサイクル（P l a n : 計画、D o : 実行、C h e c k : 評価、A c t i o n : 改善）に基づき、適切な進捗管理を実施します。

### 4－3. 情報化施策推進の視点

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 利用者の視点       | 5. 標準化の視点        |
| 2. 費用対効果の視点     | 6. ユニバーサルデザインの視点 |
| 3. 市民との協働・連携の視点 | 7. 情報セキュリティ対策の視点 |
| 4. 共同化の視点       | 8. 環境配慮の視点       |

## 5. 資料

※素案についての意見募集（パブリックコメント）実施時および計画策定時には、用語解説を掲載します。

第三次鹿児島市地域情報化計画  
素案

平成 24 年〇〇月

鹿児島市

はじめに

# 目 次

第1章 計画の概要.....	2
1-1 策定の趣旨.....	2
1-2 本計画の位置づけ.....	3
1-3 計画期間.....	3
第2章 情報化に関する現状.....	5
2-1 国の動向.....	5
2-2 本市の取り組みと現状.....	6
(1) 本市のこれまでの取り組み.....	6
(2) 本市の情報化の現状.....	7
2-3 地域情報化推進における課題の変化.....	13
(1) 市民意識調査等から導き出される今後の課題.....	13
(2) 国の動向を踏まえ、本市でも今後検討すべき課題.....	13
第3章 情報化施策.....	15
3-1 施策と重点取組項目.....	15
(1) 施策.....	15
(2) 重点取組項目.....	15
3-2 計画の体系図.....	16
3-3 具体策.....	18
(1) 信頼・協働.....	18
(2) うるおい環境.....	24
(3) にぎわい交流.....	25
(4) すこやか安心.....	28
(5) まなび文化.....	34
(6) まち基盤.....	39

第4章 計画の推進.....	42
4-1 推進体制.....	42
4-2 計画の進捗状況の管理.....	42
4-3 情報化施策推進の視点.....	42
第5章 資料編.....	45
5-1 計画の策定経過.....	45
5-2 鹿児島市地域情報化推進本部設置要綱.....	45
5-3 鹿児島市地域情報化推進委員会設置要綱.....	46
鹿児島市地域情報化推進委員名簿.....	47
5-4 用語解説.....	48

# 第 1 章 計画の概要

# 第1章 計画の概要

## 1-1 策定の趣旨

近年、ブロードバンドなど情報通信基盤の整備が進むとともに、パソコンや携帯電話が普及し、インターネットの利用者が増加するなどICT（情報通信技術）は、市民生活に浸透し、必要不可欠なものになっています。また、ICTの進展は目覚しく、SNSの台頭やスマートフォン、タブレット型端末などの普及によって、いつでも、どこでもパソコンと同等の機能でインターネットが利用できるようになるなどICT活用の幅が広がり、行政に求める市民ニーズも高度化・多様化しています。

鹿児島市（以下、本市という。）では、平成10年3月に「鹿児島市地域情報化計画」（計画期間：平成10年度～平成19年度）を策定しました。その後、「第四次鹿児島市総合計画」の6つのビジョンを掲げた「第二次鹿児島市地域情報化計画」を平成20年3月に策定し、平成20年度から平成24年度までの5年間、本市の地域情報化を推進してきました。

また、市民アンケートの結果や学識経験者の意見などから明らかになった4つの課題（「高齢者のICT利用促進」、「情報の双方向性の活用」、「発信する情報の質の向上」、「地域間格差の解消」）に対して「ICT基礎講座の実施」、「電子メールによる「わたしの提言」」、「鹿児島市ホームページの充実」、「ブロードバンド整備促進支援」などの具体策を推進し、インターネット利用率の向上や市民への情報発信の強化、地域間格差の解消などに一定の成果を上げています。

その一方、インターネットの普及などICTの進展にともない、市民は情報活用力の格差や個人情報保護に不安を感じていることなどが、平成23年度に実施した市民意識調査で明らかになりました。

また、少子高齢化の進行など、本市を取り巻く社会経済情勢が変化する中で、国の高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）は、平成22年5月に「新たな情報通信技術戦略」を策定し、国民本位の電子行政の実現などに取り組んでいます。

さらに、東日本大震災を受け、ICTを防災インフラとして有効に活用するための検討が行われています。

そこで「第二次鹿児島市地域情報化計画」の計画期間の終了後も引き続き地域情報化を推進するため、国の戦略や指針、本市の地域情報化の現状を踏まえた上で、社会経済情勢の変化やICTの進展とそれに伴う市民ニーズの高度化・多様化に対応し、市民生活の利便性向上と地域の活性化を図るために「第三次鹿児島市地域情報化計画」（以下、本計画という。）を策定します。

## 1-2 本計画の位置づけ

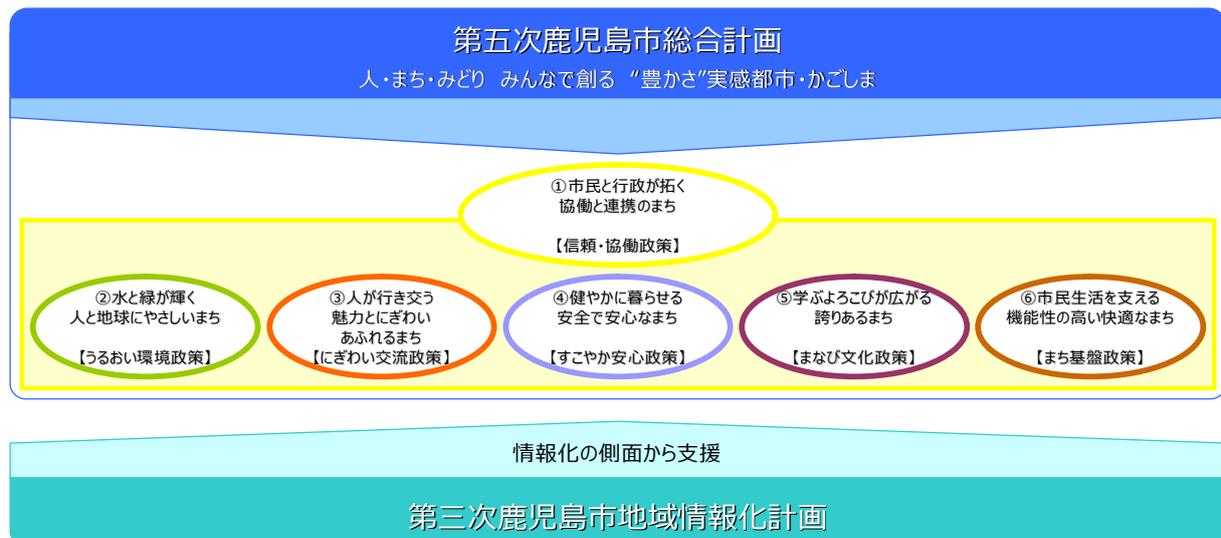
本計画は、上位計画である「第五次鹿児島市総合計画」に掲げた目標の達成に向けて、これを情報化の側面から支援します。

## 1-3 計画期間

本計画の計画期間は平成25年度から平成29年度までの5年間とします。

ただし、本市を取り巻く社会経済情勢や国の戦略や指針、ICTの動向、各施策の進捗状況等を踏まえて、必要に応じて計画を見直します。

図表 1-1：本計画の位置づけ



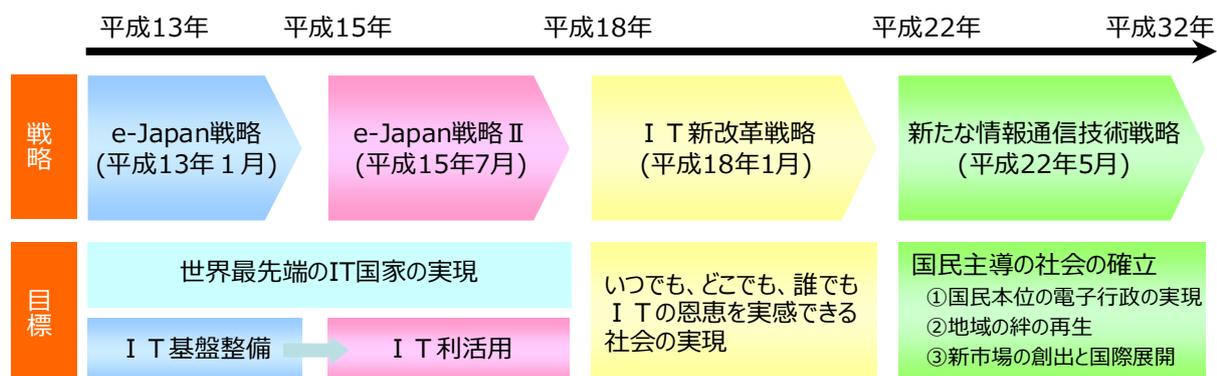
## 第2章 情報化に関する現状

## 第2章 情報化に関する現状

### 2-1 国の動向

国は I T 戦略本部において平成 2 2 年 5 月に「新たな情報通信技術戦略」を策定し、「国民本位の電子行政の実現」、「地域の絆の再生」、「新市場の創出と国際展開」の 3 つの柱を重要戦略とした施策に取り組んでいます。

図表 2-1：国の戦略の流れ



「国民本位の電子行政の実現」の中では、国と地方自治体が連携して取り組む施策として、具体的にはコンビニエンスストアで証明書がワンストップで入手できるようにする施策などを推進することとしています。

また、東日本大震災では、I C T が震災発生時や復旧・復興において広い分野で活用され、重要な役割を果たしました。特に通信インフラが大きな被害を受ける中、S N S などのインターネットを活用したサービスが提供され、有効に機能しました。この経験を踏まえ、I T 戦略本部では「I T 防災ライフライン推進協議会」を新たに立ち上げ、「災害関連情報の集約・管理・配信と S N S (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の利用」などを基本方針として定め、S N S 等のインターネットサービスなど、様々なメディアを活用した情報提供などを推進しています。

一方、総務省では平成 2 4 年 1 月には新たに「災害に強い電子自治体に関する研究会」を立ち上げ、大規模災害が発生した場合でも地方自治体の重要業務を継続して実施するとともに、住民に対して適切かつ迅速なサービスが提供できることを目的として、業務継続とサービス提供の観点から災害発生時の I C T 利活用に関する検討を行っています。

## 2-2 本市の取り組みと現状

### (1) 本市のこれまでの取り組み

#### ① 鹿児島市地域情報化計画

本市では平成10年3月に「鹿児島市地域情報化計画」（計画期間：平成10～19年度）を策定し、地域の情報化に取り組んできました。また、「第四次鹿児島市総合計画」や国の「e-Japan戦略」の策定を受けて、平成14年には「鹿児島市地域情報化計画」の後期補完計画となる「鹿児島市地域ITプラン21」を策定し、「個性あふれる情報資源都市・鹿児島の創造」を理念として、各施策を推進してきました。

#### ② 第二次鹿児島市地域情報化計画

「鹿児島市地域情報化計画」の計画期間終了を受けて、新たな国の戦略や指針を踏まえ、社会経済情勢の大きな変化とICTの進展とこれに伴う市民ニーズの高度化・多様化に対応するために、平成20年3月に「第二次鹿児島市地域情報化計画」（計画期間：平成20～24年度）を策定しました。「第二次鹿児島市地域情報化計画」では、平成18年度の市民アンケートの結果などから明らかになった4つの課題（「高齢者のICT利用促進」、「情報の双方向性の活用」、「発信する情報の質の向上」、「地域間格差の解消」）の解消に向けて取り組んできました。

#### 第二次鹿児島市地域情報化計画における4つの課題への対応状況

##### 高齢者のICT利用促進

「ICT基礎講座の実施」や「ICTメリットの広報」などの具体策を推進し、高齢者のICT利用を促進し、高齢者のインターネット利用率が増加するなど一定の成果をあげています。

##### 情報の双方向性の活用

「電子メールによる「わたしの提言」」の推進や「環境未来館のTwitter」などにより、情報の双方向性の活用を行っています。

##### 発信する情報の質の向上

「安心ネットワーク119の拡充」や「鹿児島市ホームページの充実」などの具体策を推進し、市民への情報発信の充実に努めてきました。

##### 地域間格差の解消

「ブロードバンド整備促進支援」や「地上デジタル放送難視聴対策支援」などの具体策を通じて地域間格差の解消に努め、一定の成果が現れています。

図表 2-2：本市の総合計画と地域情報化計画の期間

	平成10年度	～	平成15年度	～	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
総合計画			第四次鹿児島市総合計画 (平成14年度～平成23年度)							第五次鹿児島市総合計画 (平成24年度～平成33年度)					
地域情報計画			鹿児島市地域情報化計画			第二次鹿児島市地域情報化計画					第三次鹿児島市地域情報化計画				
			鹿児島市地域ITプラン21												

## (2) 本市の情報化の現状

ICTの進展により、インターネットやパソコン・携帯電話が市民生活に必要不可欠になっています。また、スマートフォンやタブレット型端末など新たな情報通信機器が普及し、ICTの利活用方法が多様化しています。

本市では、市民のニーズを適確に捉えるために、情報通信機器の利用状況やインターネットの利用状況、ICT施策などに関する市民の意識調査（「鹿児島市の情報化に関する市民意識調査」）を平成23年度に実施しました。この調査結果は、今後の地域情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる本計画を策定するための基礎資料としています。

### ① 調査概要

#### 調査対象者

16歳以上、80歳未満の鹿児島市民

#### 調査期間：

平成23年8月1日（月）～平成23年8月17日（水）

高校生：平成23年12月19日（月）～平成24年1月18日（水）

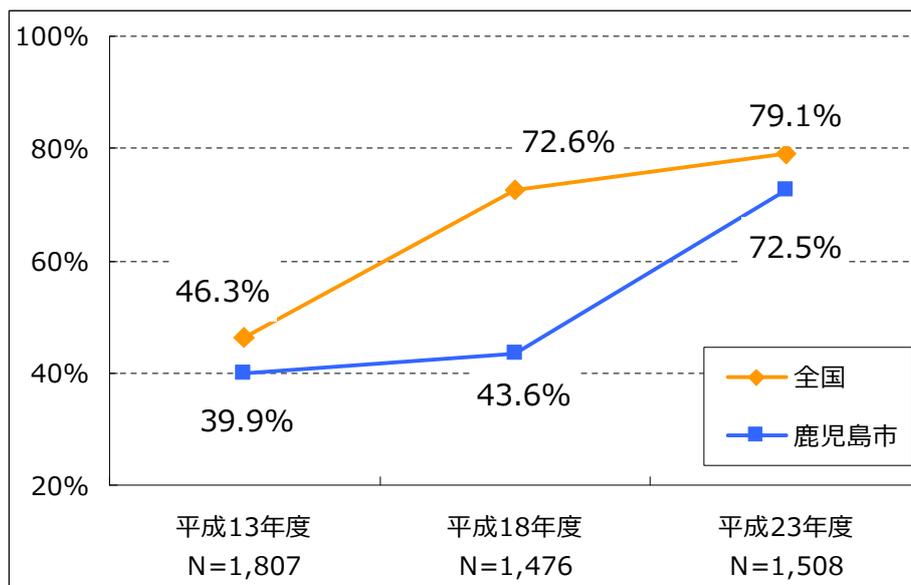
#### 有効回答数

1,584名（回答率49.5%）

### ② インターネットの利用状況

本市のインターネット利用率は全国平均と比較すると6.6ポイント低いものの、前回調査（平成18年度実施）と比較して、43.6%から72.5%に大幅に増加（28.9ポイント）しています。

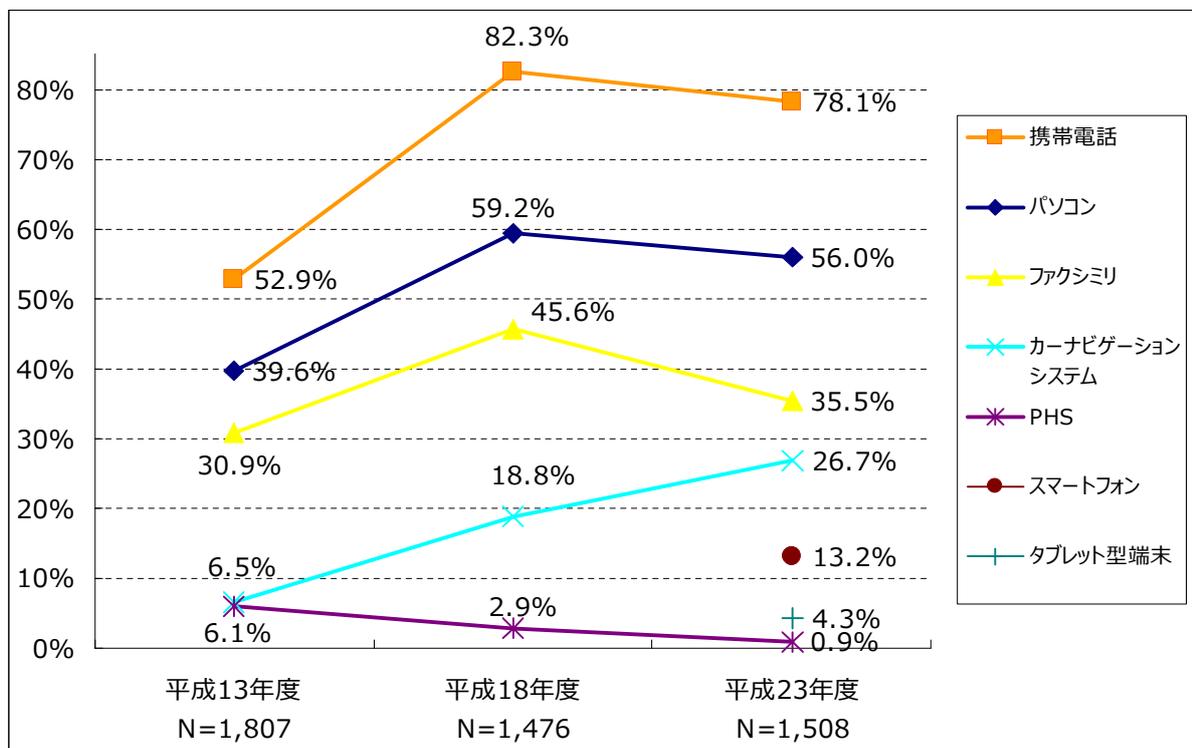
図表 2-3：インターネット利用率の推移（個人）



### ③ 情報通信機器の保有状況（世帯）

前回調査と比較すると携帯電話の保有率が82.3%から78.1%と4.2ポイント減少し、パソコンは59.2%から56.0%と3.2ポイント減少しています。国の調査でも同様の傾向を示しており、これは従来の携帯電話やパソコンに替わる、スマートフォンやタブレット型端末など、新たな情報通信端末が出現し、浸透しつつあることが要因と考えられます。

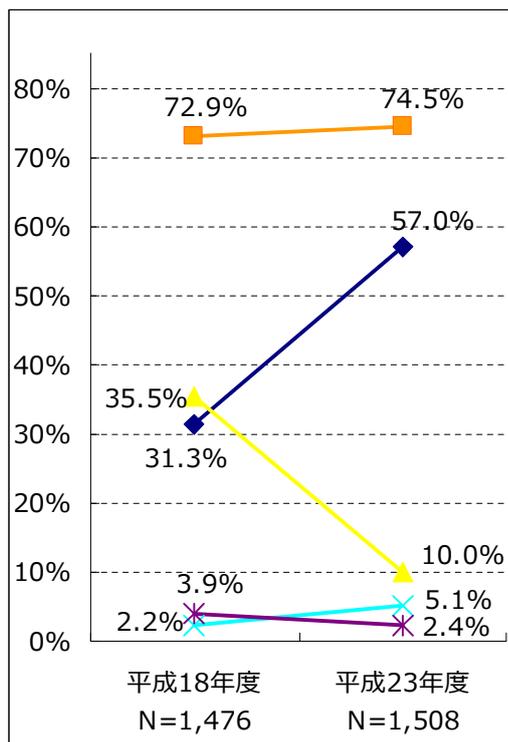
図表 2-4：情報通信機器の保有率の推移（世帯）



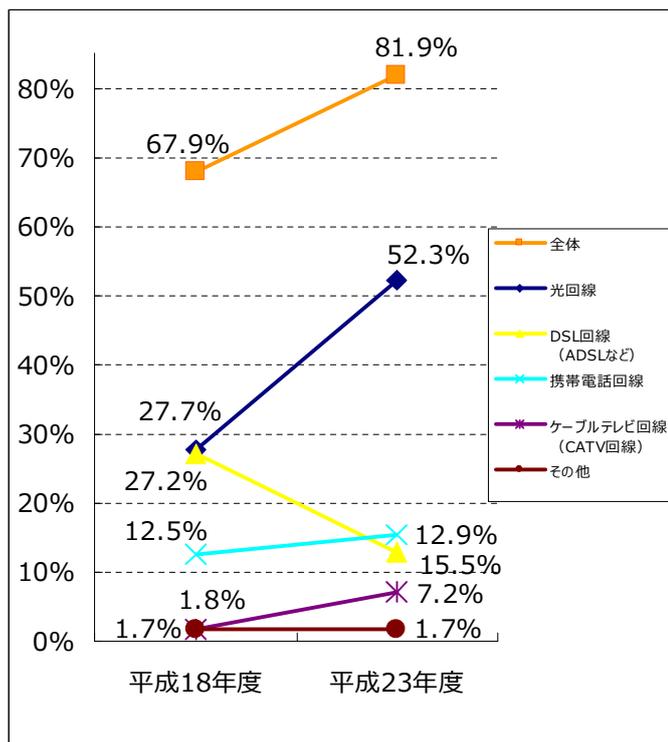
### ④ インターネットの接続回線の利用状況

前回調査と比較すると本市のブロードバンド利用率は72.9%から74.5%と1.6ポイント増加しています。回線種別ごとに見ると、光回線が31.3%から57%と25.7ポイント増加した反面、ADSLなどDSL回線が35.5%から10%と25.5ポイント減少していますが、国の調査でも同様の傾向が見られます。光回線のインフラ整備が進んだことによりDSL回線と比べてより高速で安定した光回線への移行が全国的に進んでいることがわかります。

図表 2-5 : ブロードバンドの利用状況 (本市)



図表 2-6 : ブロードバンドの利用状況 (全国)

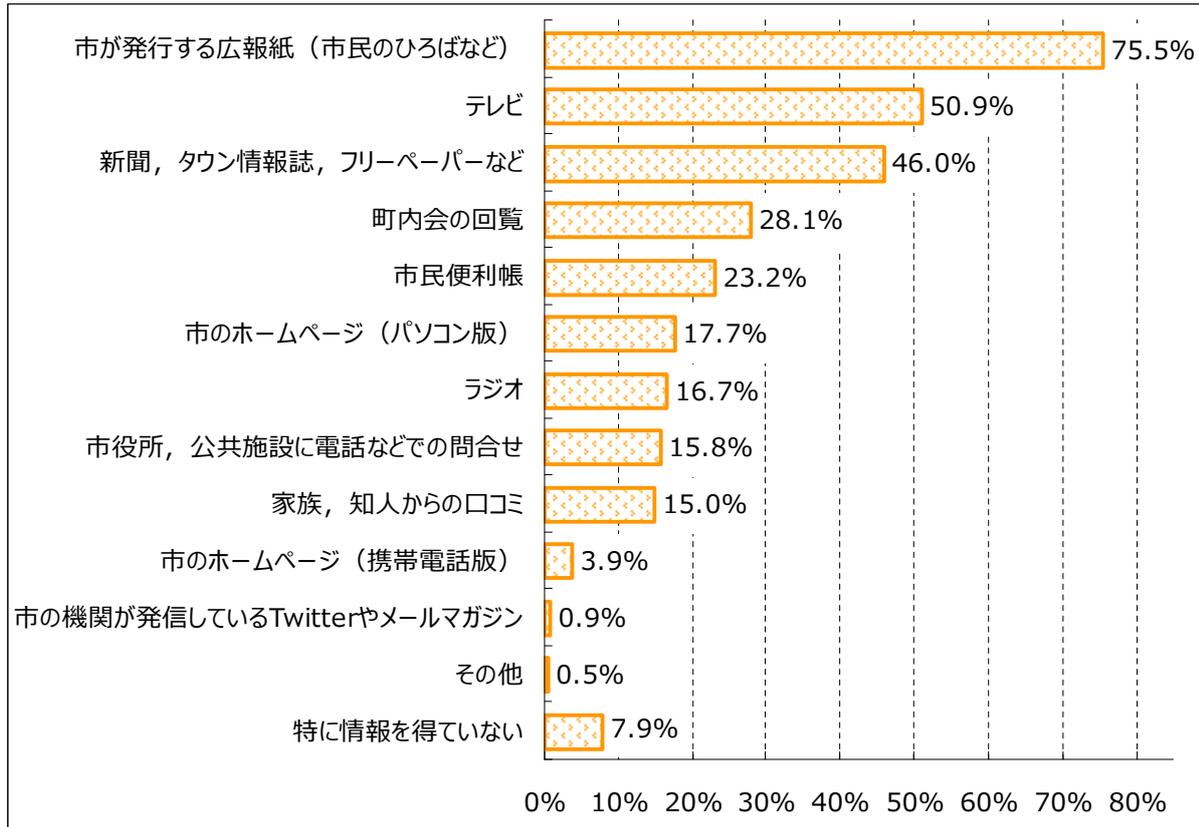


⑤ 市のホームページの利用状況

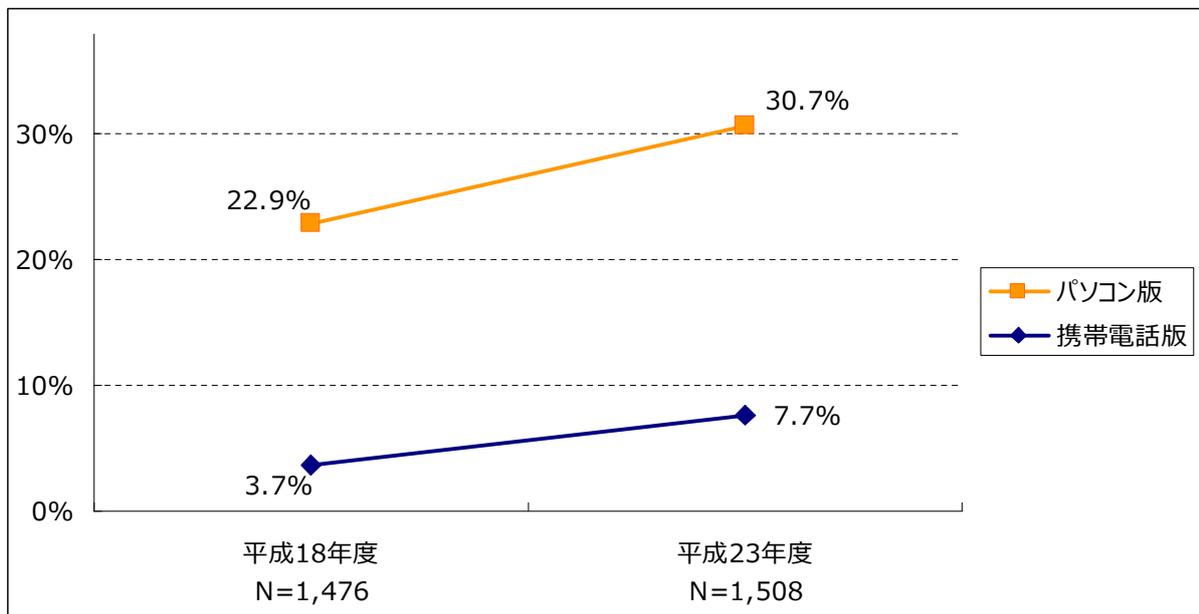
市民が行政情報を入手する手段は、「市民のひろば」など市の発行する広報誌が最も多く、75.5%を占めています。市のホームページの利用率は、パソコン版が17.7%、携帯電話版が3.9%と従来の紙媒体やテレビ・ラジオなどによる情報入手と比較すると、依然としてその割合は低い状況です。ホームページの利用促進に向けて広報活動を継続するとともに、今後増加が予想されるスマートフォン向けのホームページの作成やSNSの活用など、新たな取り組みが必要と考えられます。

また、本市ではこれまでもホームページの内容の充実や機能強化、アクセシビリティやユーザビリティ向上を推進し、市民にとって利用しやすいホームページを目指してきました。その結果、パソコン版ホームページでは、満足度が「満足」、「やや満足」、「普通」が82.1%、携帯電話版で67.2%を占め、一定の評価を得ています。一方、「やや不満」、「不満」の要因としては「情報がどこにあるかわからない」、「みづらい」などの意見が多く、今後も「みやすさ」、「わかりやすさ」を追求したホームページ作りが必要です。

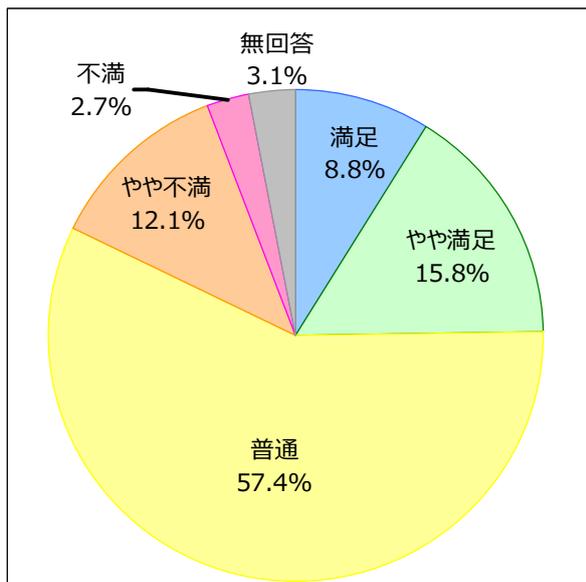
図表 2-7：行政情報の入手手段



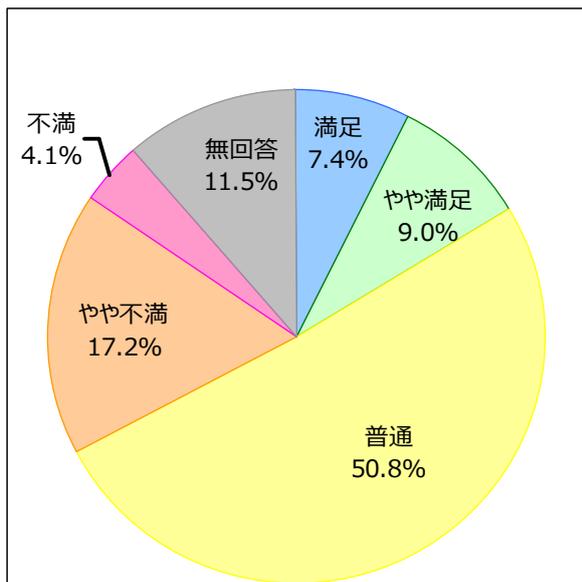
図表 2-8：市のホームページの利用経験



図表 2-9：パソコン版ホームページの満足度



図表 2-10：携帯電話版ホームページの満足度



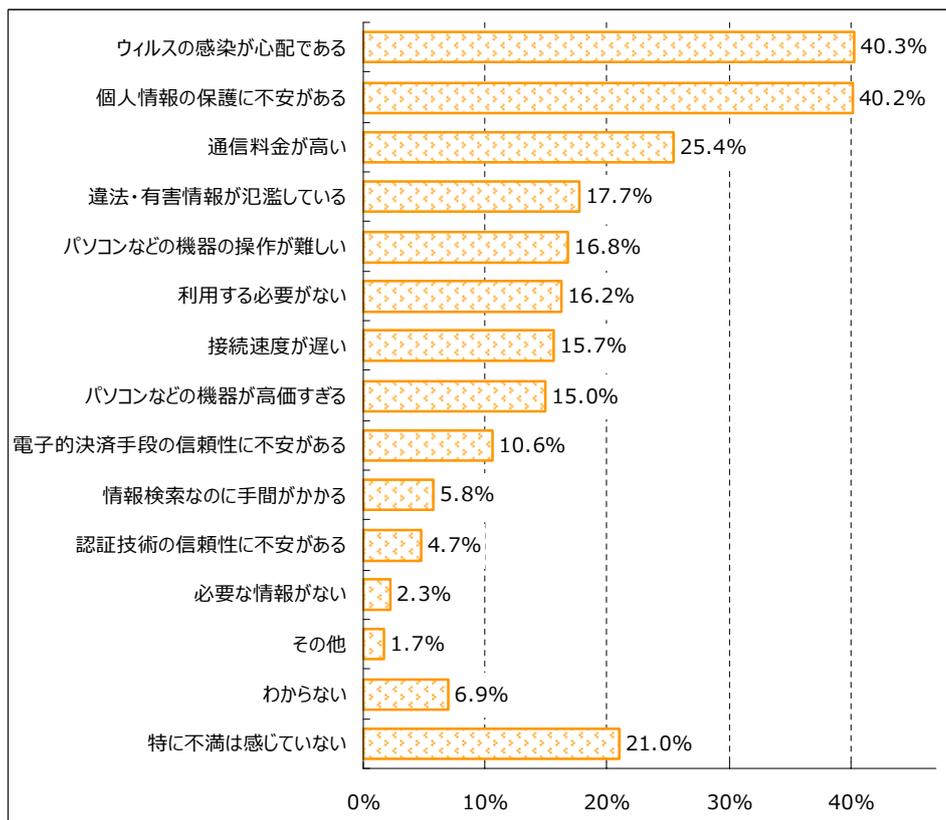
⑥ インターネットの利用や情報化に対する不安や不満など

インターネットが市民生活に浸透し、利便性などのメリットが享受できるようになった反面、その利用にあたって「ウイルス感染（40.3%）」や「個人情報の保護（40.2%）」などに多くの市民が不安を感じています。

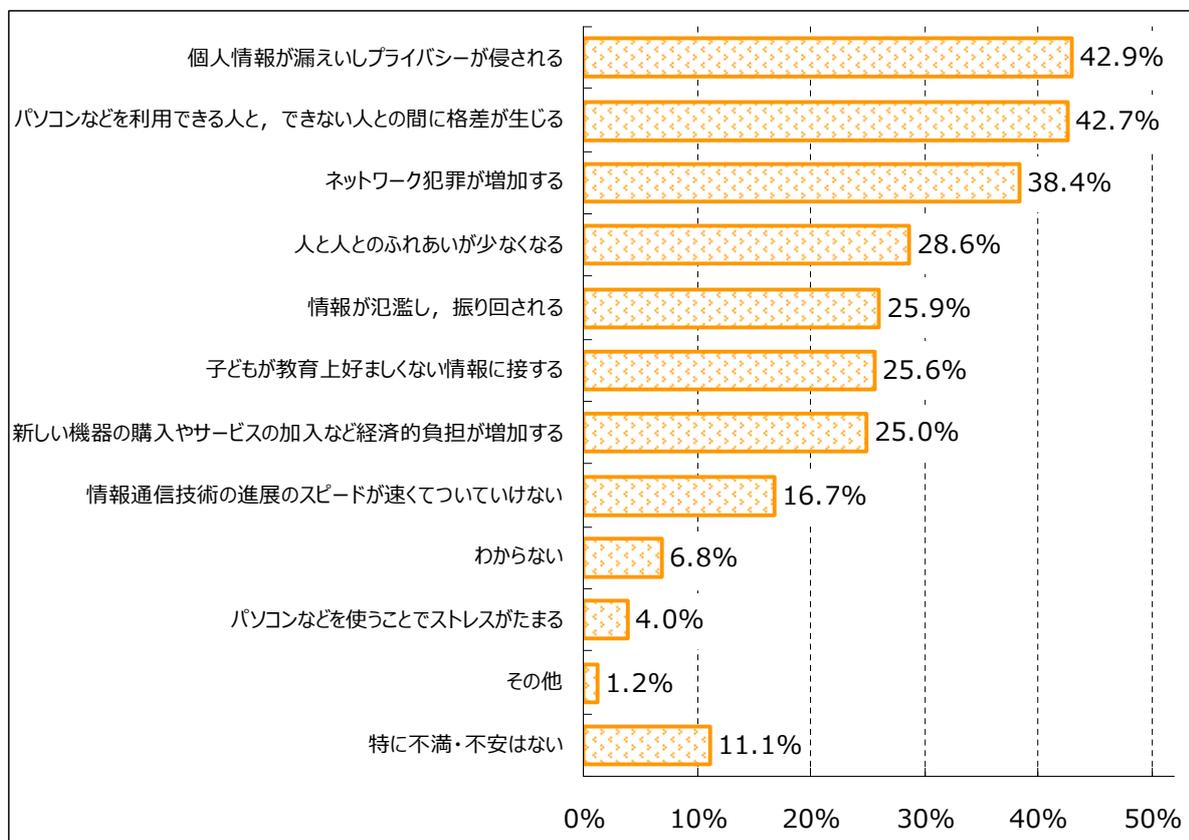
また、情報化の進展に伴って、「個人情報が漏えいしプライバシーが侵害される（42.9%）」、「パソコンなどを利用できる人と、できない人の間に差が生じる（42.7%）」などプライバシーの侵害や情報活用力の格差などに不安を感じています。

今後、スマートフォンやタブレット型端末など新たな情報通信機器の普及が進む中、市民一人ひとりがICTを安心かつ安全に利活用できるための対策が必要です。

図表 2-11：インターネットを利用して感じる不安など



図表 2-12：情報化に対する不安や不満



## 2-3 地域情報化推進における課題の変化

「第二次鹿児島市地域情報化計画」では4つの課題の解消に向けて各施策を推進し、一定の成果をあげていますが、平成23年度に実施した市民意識調査の結果などから今後取り組むべき新たな課題が明らかになりました。

### (1) 市民意識調査等から導き出される今後の課題

施策の推進により世代を問わずインターネットの利用者が増加した反面、市民は「情報活用力の格差」、「個人情報の保護」などに不安を感じています。今後、スマートフォンなど新たな情報通信機器の活用が進む中、市民一人ひとりが安心かつ安全にICTを利用するための対策が必要です。

また、新たな情報提供と市民とのコミュニケーション手段としてFacebookやTwitterなどのSNSが注目されており、今後更なる利活用に向けた検討が必要です。

一方、ホームページの「みやすさ」、「わかりやすさ」への要望は依然多く、更なる対策が求められています。

### (2) 国の動向を踏まえ、本市でも今後検討すべき課題

東日本大震災を受け、国のIT戦略本部では「IT防災ライフライン推進協議会」を設置し、災害時の情報提供・発信の手段として、SNSなどインターネットサービスを含めたさまざまなメディアの活用を検討しています。また、総務省においても業務継続とサービス提供の観点から災害等発生時のICT利活用に関する検討を行っています。

本市においても、災害発生時等の情報提供のあり方の検討や業務を継続して実施するための取り組みが必要です。

図表 2-13 : 課題の変化



## 第3章 情報化施策

## 第3章 情報化施策

### 3-1 施策と重点取組項目

#### (1) 施策

本計画では第五次鹿児島市総合計画の目標達成を情報化の側面から支援するため、総合計画に掲げる基本目標と基本施策に基づき関連する分野ごとに情報化の目指すべき方向を定め、14の施策を掲げます。

#### (2) 重点取組項目

平成23年度に実施した市民意識調査の結果や国の動向などから、今後重点的に取り組むべき3つの項目を設定し、本市の地域情報化を推進します。

##### ① ICTの安心・安全な利活用の推進

ICTの進展に伴いインターネットなどが市民生活に浸透し、重要になっています。一方、市民は情報活用力の格差や個人情報の保護に関して不安を感じています。市民等がICTに関する必要な知識と利活用方法を身に付け、ICTを安心かつ安全に利活用するための施策を推進します。

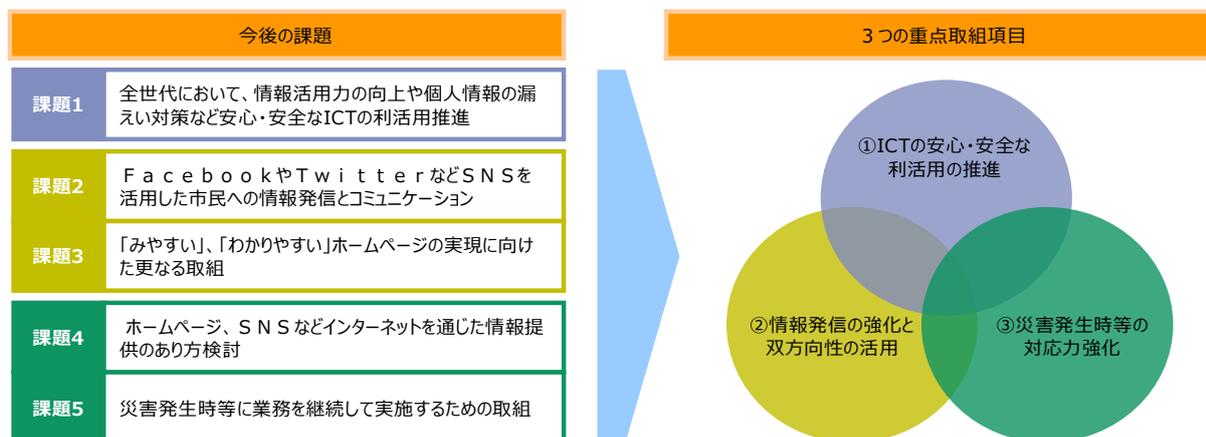
##### ② 情報発信の強化と双方向性の活用

インターネットの急速な普及に伴い、新たな情報提供と市民とのコミュニケーションの手段としてSNSが注目されています。ホームページの「みやすさ」や「わかりやすさ」の向上への取り組みに加えて、SNSなどを効果的に活用し、より充実した情報提供を図ります。

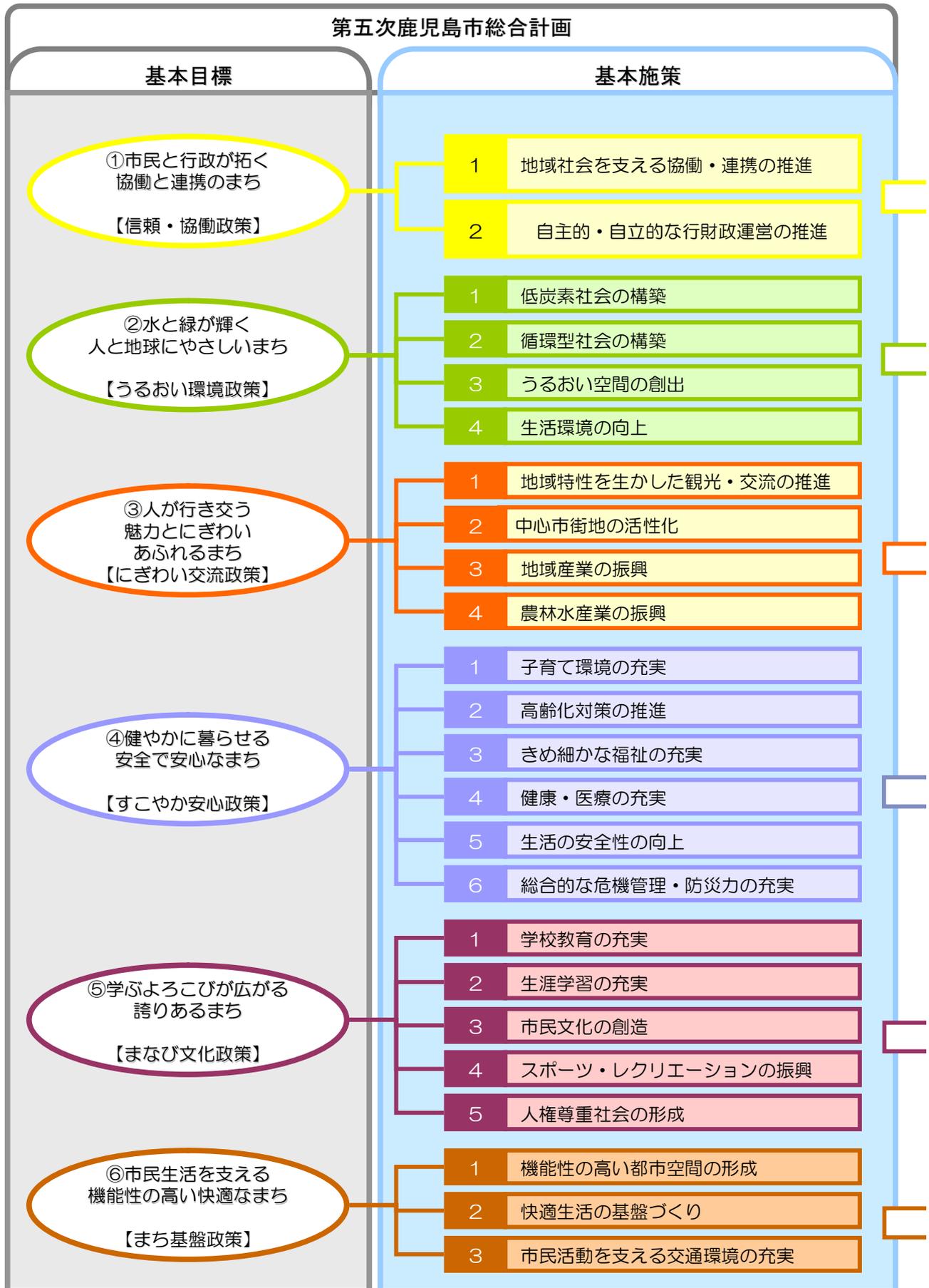
##### ③ 災害発生時等の対応力強化

東日本大震災など自然災害による被害が大きく注目され、災害発生時の迅速な対応が必要とされています。本市においても、SNSなどのICTを活用した情報提供のあり方を検討します。また、自然災害のみならず、サイバー攻撃や計画停電時にも継続的に行政サービスを提供するための仕組みや体制などを検討します。

図表 3-1：今後の課題と3つの重点取組項目



3-2 計画の体系図



# 第三次鹿児島市地域情報化計画

## I 信頼・協働

1 電子行政の推進

2 地域のICT利活用促進

## II うるおい環境

3 環境に配慮した情報化の推進

## III にぎわい交流

4 観光・交流における情報化の推進

5 地域産業における情報化の推進

## IV すこやか安心

6 ICTを活用した子育て支援の充実

7 ICTを活用した高齢化対策の推進

8 ICTを活用した福祉・医療の充実

9 ICTを活用した  
危機管理・防災力の充実

## V まなび文化

10 学校における情報教育の充実

11 生涯学習におけるICT活用

12 文化情報の発信

## VI まち基盤

13 都市基盤施設におけるICT活用

14 ICTを活用した交通環境の充実

### 重点取組

①市民等がICTに関する必要な知識と利活用方法を身に付け、ICTを安心かつ安全に利活用するための施策を推進します。

#### (具体策)

- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・高齢者いきいき元気塾におけるICT基礎講座の実施
- ・情報教育（情報モラル等）の充実
- ・インターネットの安全利用に関する啓発
- ・スクール・キャンパス消費生活啓発事業

①ICTの安心・安全な利活用の推進

②情報発信の強化と双方向性の活用

③災害発生時等の対応力強化

②ホームページの「みやすさ」や「わかりやすさ」の向上への取り組みに加えて、SNSなどを効果的に活用し、より充実した情報提供を図ります。

#### 具体策

- ・鹿児島市ホームページの充実
- ・SNS等を活用した市政情報発信の充実
- ・地域コミュニティ連携組織ポータルサイト開設・運用事業
- ・メールマガジンによる観光情報発信の充実
- ・観光ホームページの運営
- ・海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信
- ・外国人観光客受入体制整備事業
- ・子育て支援情報サイトの構築
- ・SNS等を活用した防災情報の発信
- ・インターネットを活用した119番通報の受理
- ・新電車運行情報システム導入事業

③災害時におけるSNSなどのICTを活用した情報提供のあり方を検討します。また、自然災害のみならず、サイバー攻撃や計画停電時にも継続的に行政サービスを提供するための仕組みや体制などを検討します。

#### (具体策)

- ・鹿児島市ホームページの充実
- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・デジタル防災行政無線の整備
- ・安心ネットワーク119の拡充
- ・消防緊急通信指令システムの再構築（デジタル化対応）
- ・ICT-BCPの策定
- ・SNS等を活用した防災情報の発信
- ・インターネットを活用した119番通報の受理
- ・新電車運行情報システム導入事業

### 3-3 具体策

#### (1) 信頼・協働

##### ① 電子行政の推進

情報通信技術は市民生活の利便性向上などにますます重要な役割を果たしてきています。

SNSなど新たな広報手段を活用して市政情報発信の充実に努めるとともに、コンビニでの証明書の交付などを実施し、市民サービスの向上や行政事務の効率化などを図ります。

1

具体策名	鹿児島市ホームページの充実（リニューアル等）	担当部局	全局
概要	<p>新しい広報媒体を活用することで、より多くの市民（特に若年層）に市政情報を提供できるとともに、誰にとっても利用しやすく使いやすいホームページとなるよう、内容の充実や機能の強化を行い、情報発信の充実に図ります。</p> <p>また、本市ホームページは、平成19年度のリニューアルから5年を経過しようとしています。音声読み上げなど、機能の追加等は随時行ってきていますが、情報通信技術の進展への対応の必要性や掲載する情報量の増大、求められる情報の変化、アクセシビリティ、災害時への対応等が求められているため、サーバの更新を契機として各種課題への対応を含めたりリニューアルを行います。</p>		
指標	・ホームページへのアクセス数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

2

具体策名	SNS等を活用した市政情報発信の充実	担当部局	全局
概要	<p>現在、活用が広がっているFacebook等のSNSや電子ブックなどの新しい広報媒体を活用して、より多くの市民にタイムリーな市政情報を発信します。</p>		
指標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

3

具体策名	パブリックコメント手続の意見提出における電子申請（簡易申請）の活用	担当部局	市民局
概要	<p>パブリックコメント手続の意見提出方法の一つとして、新たに電子申請（簡易申請）を活用します。</p>		
指標	・申請件数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

4

具 体 策 名	鹿児島市総合案内コールセンターの運営 (サンサンコールかごしま)	担当部局	市民局
概 要	市民からの問合せを年中無休で受付け、I Tを用いて迅速かつ適確な対応を行うコールセンター（サンサンコールかごしま）を運営し、市民サービスの向上を図ります。		
指 標	・利用者数 ・一次対応完了率 ・平均対応時間	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

5

具 体 策 名	サンサンコールかごしまFAQシステムの拡充	担当部局	市民局
概 要	ホームページ上に市政に関する「よくある質問Q & A（FAQ）」を掲載し、市役所に問い合わせることなくその場で手続き等が確認できるようにすることで、市民サービスの向上を図ります。		
指 標	・FAQ件数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

6

具 体 策 名	住民情報系システム最適化事業	担当部局	総務局
概 要	<p>情報システムの最適化にあたり、財務会計などの内部情報系システムを再構築等し、平成23年度に順次稼働させています。これに引き続き、住民情報系システム全体の効率的な運用を図るため、共通基盤や国民健康保険、税、住民記録システムなどの再構築等を実施します。</p> <p>また、導入業者の調達などの取組状況を示すことで、今後の調達の参考とします。</p>		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

7

具 体 策 名	コンビニ交付システム構築事業	担当部局	総務局
概 要	市民の利便性向上を図るため、市役所の開庁時間以外においても、住民基本台帳カードを利用して、コンビニエンスストアで住民票の写しなどを交付するシステムを構築します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 8

具 体 策 名	電子申請システムの拡充	担当部局	総務局
概 要	電子申請の利用促進を図るため、申請手続きの種類の拡大や、I Dの登録等を必要せず、かつ携帯電話からでも利用できるサービスを拡充します。		
指 標	・電子申請利用件数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 9

具 体 策 名	人事評価システムの導入	担当部局	総務局
概 要	平成25年度に全職員に対し導入する人事評価制度の効率的・効果的な運用を図るため、目標設定から評価までの評価事務及び評価結果の集計・分析・活用等が可能なシステムを構築します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 10

具 体 策 名	水道局電算システム再構築事業	担当部局	水道局
概 要	現在、汎用コンピュータで処理している電算業務を、サーバー機による処理に変更することで、使用性向上により水道料金管理業務及び財務管理業務並びに新規開発の滞納管理等業務の効率化を図るとともに、電算機器等に係る経費の縮減を図ります。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 11

具 体 策 名	統合型GISの運用	担当部局	総務局ほか
概 要	複数の部局が各業務において共用する地図データを一元的に管理する「統合型GIS（地理情報システム）」に新たに上下水道管路施設のデータを追加するなど、拡充して運用します。また地図データを使って、公共施設や観光等の情報をインターネット上で公開する「かごしまiマップ」により市民の利便性向上を図ります。		
指 標	・iマップへのアクセス数 ・データ項目数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 12

具 体 策 名	電子納品の推進	担当部局	建設局
概 要	公共工事における調査、設計、工事などの各業務の最終成果を電子成果品として納品することで業務の効率化、省スペース化等を図ります。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 13

具 体 策 名	設計書・図面等の電子化による管理	担当部局	水道局
概 要	施設に係る書類、図面及び写真を電子データでネットワークディスクに保管することにより関連書類の整理を図るとともに、事業関連課の相互利用を進めます。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 14

具 体 策 名	情報セキュリティ対策の推進	担当部局	総務局ほか
概 要	情報資産を内外のあらゆる脅威から防御するため、情報セキュリティ監査、機器の導入、職員研修などを実施します。実施にあたっては、新たな脅威に対応するため、最新技術の情報収集を行い対策を行います。		
指 標	—	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

② 地域のICT利活用促進

市民、事業者行政等の協働・連携による活力ある豊かな地域づくりが求められています。地域コミュニティ連携組織ポータルサイトを通して、市民の地域コミュニティへの参加を促進するほか、ITフェスタの開催などにより、市民等の情報活用力の向上などを図ります。

15

具 体 策 名	地域コミュニティ連携組織ポータルサイト開設・運用事業	担当部局	市民局
概 要	地域コミュニティ連携組織の活動内容等を市民へ広く公表するとともに、地域コミュニティ連携組織・町内会・市民間の情報交換及び交流する場をインターネット上に設けることで、特に若い世代の市民活動への参画を促進するきっかけづくりに取り組み、コミュニティビジョンの推進を図ります。		
指 標	・ホームページへのアクセス数 ・リンク先数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

16

具 体 策 名	通信環境の整備	担当部局	総務局
概 要	これまで条件不利地域のブロードバンド整備や地上デジタル放送の共聴施設整備を行い、一定の成果を上げてきました。今後も引き続き携帯電話の不感地区、光回線の未整備地区などについて情報収集を行い、通信事業者に要望を伝え整備を働きかけていきます。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

17

具 体 策 名	ICT使用のメリット広報	担当部局	総務局
概 要	近年、パソコンや携帯電話の普及が大きく進むとともに、スマートフォンなどの新たな情報通信技術が普及・台頭していることから、ICTを安心安全に利用することで、全ての人が便利さを実感し、その恩恵を享受できるようITフェスタ、市民のひろば、市政広報テレビ・ラジオ、市政出前トーク、ホームページ等を通じて、広報します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

具 体 策 名	かごしま I T フェスタの開催	担当部局	総務局
概 要	I Tに関する総合的なイベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い市民の I C Tに対する関心を高めるとともに、地元 I T 産業の活性化などを図ります。開催にあたっては、全ての人が I C Tを安心安全に利用できるようになるための超初心者パソコン教室やセキュリティに関するセミナーなどを実施します。		
指 標	・来場者数	重点	<input type="checkbox"/> ICT の安心・安全な 利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化 と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の 対応力強化

(2) うるおい環境

① 環境に配慮した情報化の推進

低炭素社会や循環型社会の構築などが求められています。庁内サーバー統合等による消費電力の削減や環境情報システムによる情報発信の充実などを図ります。

19

具 体 策 名	庁内サーバー統合等による消費電力及びCO2の削減	担当部局	総務局
概 要	内部情報系システムにおいては、市役所WAN端末を共用することで、専用端末を廃止し、住民情報系システムにおいては、仮想化等技術により、システム構成を必要最小限にします。		
指 標	・機器台数の削減率	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

20

具 体 策 名	環境情報システムの運用	担当部局	環境局
概 要	市民や事業者、学校等に、環境に関する情報を分かりやすく伝えるとともに、楽しく学べる学習教材等を提供することにより、環境学習の促進、環境保全活動の支援を行います。 また、耐用年数を超えているサーバーやネットワーク関連機器等の更新により、セキュリティ機能及び市民サービスの向上、並びに業務の効率化を図ります。		
指 標	・ホームページへのアクセス数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(3) にぎわい交流

① 観光・交流における情報化の推進

九州新幹線の全線開業などにより、これまで以上に、観光交流都市としての魅力の向上や、受け入れ体制の充実、効果的な情報発信に努める必要があります。新たな観光情報のホームページやメールマガジンなどを通じて、自然、歴史、文化、食など本市の持つ魅力を発信するとともに、観光客が観光情報を入手するための環境整備などを実施し、国内外からより多くの人を訪れるまちづくりを推進します。

21

具 体 策 名	メールマガジンによる観光情報発信の充実	担当部局	経済局
概 要	鹿児島市に関心を持ち、本市の魅力を広く伝えたい方々に観光サポーターとして登録していただけます。サポーターの方々には、本市から配信するメールマガジンの観光情報などを友人、知人、職場等の方々に口コミ、ブログなどで発信し鹿児島市の観光を盛り上げる応援をしていただくものです。		
指 標	・登録者数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

22

具 体 策 名	観光ホームページの運営	担当部局	経済局
概 要	新たな観光ホームページを運営する鹿児島観光コンベンション協会に対して補助金を交付するとともに、同ホームページ上で観光客等に情報提供を行います。また、上記ホームページの運用開始（平成25年3月）に伴い、鹿児島市ホームページ（観光・イベント）の改修を行います。		
指 標	・ホームページへのアクセス数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

23

具 体 策 名	海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信	担当部局	経済局
概 要	本市を含む旅行商品の造成を働きかけるために、韓国・中国・台湾・香港の旅行エージェントに対して、本市の旬の情報を掲載した「さきどり情報」を年に2回メールで配信します。		
指 標	・配信件数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

具 体 策 名	外国人観光客受入体制整備事業	担当部局	経済局
概 要	外国人観光客がスマートフォンやタブレット端末で、無料で気軽に地域の観光情報等入手できるように、鹿児島中央駅総合観光案内所等にW i - F i 環境を整備します。		
指 標	・整備箇所数	重点	<input type="checkbox"/> ICT の安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

② 地域産業における情報化の推進

情報通信技術社会が進展していることから、企業などにおいても人材育成などの対応が求められています。

情報化に関するセミナーの開催などによる新規創業者等の育成支援や情報関連企業の誘致などを通じて、地域産業の活性化を図ります。

25

具 体 策 名	新規創業者等の育成支援	担当部局	経済局
概 要	「ソフトプラザかごしま」及び「ソーホーかごしま」の運営のほか、ビジネスに係るスキルアップや情報化促進のための各種セミナー、ビジネスチャンスの拡大のための交流会等を体系的に実施することにより、市内の情報関連企業やS O H O事業者、新規創業者等の育成支援を行います。		
指 標	・入居者数 or 参加者数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

26

具 体 策 名	情報関連企業の立地	担当部局	経済局
概 要	企業訪問活動や企業立地促進補助金制度のP Rなどにより、市外企業の誘致や地元企業の増設等による企業立地を推進します。		
指 標	・立地協定締結数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(4) すこやか安心

① ICTを活用した子育て支援の充実

核家族化の進行や地域住民同士の交流の希薄化が進む中、子育てに関する支援や情報が得にくい環境になっています。ICTを活用して、子育て支援施設や支援団体等の活動の情報を効果的に提供し、親同士、妊婦同士が情報交換し、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進します。

27

具 体 策 名	子育て支援情報サイトの構築	担当部局	健康福祉局
概 要	子育て支援情報ネットワークの構築に向け、引き続き、すこやか子育て交流館（りぼんかん）ホームページでの情報提供を行うほか、親子つどいの広場（なかまっち）では、指定管理者によりホームページで情報提供を行います。また、りぼんかんにおいて子育て支援に関する情報を一元管理し、効果的な情報提供を行うため、子育て応援ポータルサイト（仮称）の構築や、子育て支援情報のメール配信を実施します。		
指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポータルサイトのアクセス数</li> <li>メール配信登録者数</li> </ul>	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

28

具 体 策 名	親子つどいの広場へのICTコーナー設置	担当部局	健康福祉局
概 要	南部・北部地域へ親子つどいの広場を整備するにあたり、子育て情報コーナーにおいて、利用者が気軽に子育て情報を収集できるよう情報端末を設置します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

② ICTを活用した高齢化対策の推進

高齢化が急速に進む中、高齢者が健康で生きがいを持って生活することが重要であり、今後より一層高齢者の社会参加活動や健康・生きがいを推進していく必要があります。

ICT利用に関する広報活動やイベントの開催を通じて、高齢者のインターネットなどのICTへの関心を高めるとともに、安心・安全な利活用を促進します。

(17再掲)

具 体 策 名	ICT使用のメリット広報	担当部局	総務局
概 要	近年、パソコンや携帯電話の普及が大きく進むとともに、スマートフォンなどの新たな情報通信技術が普及・台頭していることから、ICTを安心安全に利用することで、全ての人が便利さを実感し、その恩恵を享受できるようITフェスタ、市民のひろば、市政広報テレビ・ラジオ、市政出前トーク、ホームページ等を通じて、広報します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(18再掲)

具 体 策 名	かごしまITフェスタの開催	担当部局	総務局
概 要	ITに関する総合的なイベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い市民のICTに対する関心を高めるとともに、地元IT産業の活性化などを図ります。開催にあたっては、全ての人がICTを安心安全に利用できるようになるための超初心者パソコン教室やセキュリティに関するセミナーなどを実施します。		
指 標	・来場者数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

29

具 体 策 名	高齢者いきいき元気塾におけるICT基礎講座の実施	担当部局	教育委員会
概 要	生涯学習プラザ講座、地域公民館講座の中で、高齢者を対象にインターネット・メール等に関する学習の場を設け、ICTに関する関心を高めるとともに、情報セキュリティの必要性と安心、安全な活用法について啓発します。		
指 標	・講座数	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

30（長寿支援課作成中）

具 体 策 名	在宅介護支援システム	担当部局	健康福祉局
概 要			
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICT の安心・安全な 利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化 と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の 対応力強化

## ICTを活用した福祉・医療の充実

きめ細やかな福祉サービスの充実や安心安全な質の高い医療の提供などが求められています。  
電子カルテシステムの導入など病院機能の充実に努めるとともに、地域医療機関との連携などを図ります。

31

具 体 策 名	市立病院電子カルテシステムの導入	担当部局	市立病院
概 要	現在の病院情報システムの更新にあわせて、電子カルテシステムを導入することにより、1患者1カルテとなり、より総合的で質の高い診療を提供します。また医療画像管理システムと連携し、地域医療連携の充実を図ります。		
指 標	・	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

③ ICTを活用した危機管理・防災力の充実

東日本大震災などを踏まえて、危機管理・防災力の充実が求められています。デジタル防災行政無線の整備や安心ネットワーク119のメールでの災害情報の提供などを通じて、災害時の情報発信強化を図るとともに、ICT-BCPを策定し、災害等発生時に継続して住民サービスを提供するため仕組みや体制を構築します。

32

具 体 策 名	デジタル防災行政無線の整備	担当部局	市民局
概 要	<p>災害時における迅速・確実な防災情報の伝達を図るために、防災行政無線の機器更新・追加整備、デジタル化及び合併に伴うシステム統合を含めた全市一体的な整備を行います。</p> <p>また、緊急速報メール・安心ネットワーク119メールとの連携やFAX送信システム、LED文字表示盤による情報伝達手段の多様化を図るとともに、防災監視カメラによる情報収集及びインターネット公開を行います。</p>		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

33

具 体 策 名	安心ネットワーク119の拡充	担当部局	消防局
概 要	<p>鹿児島市内で発生した火災等の災害情報や台風・大雨等の気象情報、市民発令や避難所開設等の情報を事前に登録された市民のメールアドレスに配信します。</p>		
指 標	・登録者数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

34

具 体 策 名	消防緊急通信指令システムの再構築（デジタル化対応）	担当部局	消防局
概 要	<p>消防緊急通信指令システムを消防救急無線のデジタル化に併せて整備するとともに、情報通信技術を駆使した高機能消防防災システムの導入を検討します。</p>		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 35

具 体 策 名	ICT-BCPの策定	担当部局	総務局ほか
概 要	災害などの非常時に最低限必要な行政サービスの提供を維持することを目的に、国の「地方自治体におけるICT部門の業務継続計画（BCP）策定に関するガイドライン」に沿った、情報システム・ネットワークの被災時等を想定した業務継続計画を策定します。		
指 標	－	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 36

具 体 策 名	SNS等を活用した防災情報の発信	担 当 部 局	消防局
概 要	災害時において消防（防災機関）から情報発信するとともに市民から寄せられた情報を確認し、災害対策に役立つシステムを検討します。		
指 標	・登録者数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 37

具 体 策 名	インターネットを活用した119番通報の受理	担 当 部 局	消防局
概 要	聴覚障害者等からの緊急通報や大規模災害時における119番通報回線の断線等においても119番通報が受理できるシステムの導入を検討します。		
指 標	－	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(5) まなび文化

① 学校における情報教育の充実

教育用コンピューターの整備を進め、児童生徒の情報教育の推進に努めてきた一方で、情報セキュリティやインターネット上のトラブルを未然に防止するための対策などが求められています。児童生徒等の情報活用能力の更なる育成と情報モラルの育成などに努めます。

38

具 体 策 名	学習用・校務用機器等の整備	担当部局	教育委員会
概 要	情報教育推進のため、コンピュータ機器等の維持管理を行っています。また情報教育や教科指導におけるICT活用推進を図るため、国の整備方針をふまえ、計画的に機器やネットワーク等を整備していきます。		
指 標	・児童／生徒一人当たりのパソコン整備率	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

39

具 体 策 名	ICT支援員派遣事業	担当部局	教育委員会
概 要	学校に配備したICT機器やソフトウェアの活用促進を図るため、ICT支援員を配置し、学校での校内研修等への派遣、操作・活用マニュアル等やデジタルコンテンツを位置づけた年間計画の追加・修正、自作教材の収集・編集及び教員のICT活用指導力向上の支援を行います。		
指 標	・文科省「教員のICT活用指導力」チェックリスト	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

40

具 体 策 名	情報教育(情報モラル等)の充実	担当部局	教育委員会
概 要	児童生徒等の情報セキュリティに対する意識と理解を深めることともに、情報モラルの向上を図ります。		
指 標	・情報教育（情報モラル等）の実施校及び実施時間数	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 41

具 体 策 名	インターネットの安全利用に関する啓発	担 当 部 局	教育委員会
概 要	携帯電話、携帯ゲーム機、パソコン等を通じたインターネット上のトラブルから児童生徒を守るために、フィルタリングの設定促進などについて、リーフレットやホームページを通して、児童生徒・保護者への啓発を図ります。		
指 標	・フィルタリング設定率	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

## 42

具 体 策 名	スクール・キャンパス消費生活啓発事業	担 当 部 局	市民局
概 要	若年層の消費者トラブルを未然に防止するため、小・中学生向けの学習資料の作成・配布およびデジタルコンテンツ教材の活用促進など、消費者啓発の充実を図ります。 ※デジタルコンテンツ教材の作成は平成24年度で終了		
指 標	<input type="checkbox"/>	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

② 生涯学習におけるICT活用

生涯学習の活性化のために、学習関連施設や学習情報の充実が求められています。ICTを活用した施設利用者の利便性向上を図るとともに、情報セキュリティ講座などICT関連講座の実施により、生涯学習におけるICTの安心安全な利活用を推進します。

(17再掲)

具 体 策 名	ICT使用のメリット広報	担当部局	総務局
概 要	近年、パソコンや携帯電話の普及が大きく進むとともに、スマートフォンなどの新たな情報通信技術が普及・台頭していることから、ICTを安心安全に利用することで、全ての人が利便性を実感し、その恩恵を享受できるようITフェスタ、市民のひろば、市政広報テレビ・ラジオ、市政出前トーク、ホームページ等を通じて、広報します。		
指 標	－	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(18再掲)

具 体 策 名	かごしまITフェスタの開催	担当部局	総務局
概 要	ITに関する総合的なイベントを開催し、子どもから高齢者まで幅広い市民のICTに対する関心を高めるとともに、地元IT産業の活性化などを図ります。開催にあたっては、全ての人がICTを安心安全に利用できるようになるための超初心者パソコン教室やセキュリティに関するセミナーなどを実施します。		
指 標	・来場者数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

43

具 体 策 名	ICT基礎講座の実施	担 当 部 局	教育委員会
概 要	生涯学習プラザ講座、地域公民館講座や小・中学校の家庭教育学級の中で、インターネット・メール等に関する学習の場を設け、ICTに関する関心を高めるとともに、情報セキュリティの必要性和安心、安全な活用法について啓発します。		
指 標	・講座数、学習回数	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(29再掲)

具 体 策 名	高齢者いきいき元気塾におけるICT基礎講座の実施	担当部局	教育委員会
概 要	生涯学習プラザ講座、地域公民館講座の中で、高齢者を対象にインターネット・メール等に関する学習の場を設け、ICTに関する関心を高めるとともに、情報セキュリティの必要性和安心、安全な活用法について啓発します。		
指 標	・講座数	重点	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

44

具 体 策 名	生涯学習情報システム利便性向上事業	担 当 部 局	教育委員会
概 要	安定的なシステム運用のため、地域公民館やスポーツ施設の業務端末を年次的に更新します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICT の安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

45

具 体 策 名	図書館電算システムの運用	担当部局	教育委員会
概 要	図書館電算システムを安定的に運用し、蔵書管理、貸出、返却業務の他、館内端末機やインターネットを通じて蔵書検索、予約、利用状況確認等のサービスを提供することにより、市立図書館及び地域公民館図書室利用者の利便性向上を図ります。		
指 標	・システムを通じた（インターネット・OPAC）予約件数	重点	<input type="checkbox"/> ICT の安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

③ 文化情報の発信

かごしまデジタルミュージアムの充実などを通じて、歴史・文化資産のデジタル化を推進し、本市の貴重な文化芸術を身近に鑑賞できる機会を充実するとともに、インターネットなどICTを活用した文化情報の発信などを図ります。

46

具 体 策 名	かごしまデジタルミュージアムの充実	担当部局	教育委員会
概 要	美術館、ふるさと考古歴史館、かごしま近代文学館・メルヘン館、西郷南洲顕彰館、維新ふるさと館に収蔵されている貴重な歴史・文化資産をはじめとして、市内の史跡・文化財や伝統工芸品、郷土芸能などをデータベース化し、これらの情報をインターネット等により情報発信します。		
指 標	・かごしまデジタルミュージアムへのアクセス数 ・コンテンツ数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

(6) まち基盤政策

① 都市基盤施設におけるICT活用

生活道路や上下水道など市民生活に密着した都市基盤施設について、より効率的で効果的な整備や長寿命化などが求められています。

統合型GISを活用した上下水道配管図等の電子化やICTを活用した施設の管理（ストックマネジメント）などを推進し、中長期的な視点で効率的な整備を図ります。

(11 再掲)

具 体 策 名	統合型GISの運用	担当部局	総務局ほか
概 要	複数の部局が各業務において共用する地図データを一元的に管理する「統合型GIS（地理情報システム）」に新たに上下水道管路施設のデータを追加するなど、拡充して運用します。また地図データを使って、公共施設や観光等の情報をインターネット上で公開する「かごしまiマップ」により市民の利便性向上を図ります。		
指 標	・iマップへのアクセス数 ・データ項目数	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

47

具 体 策 名	ストックマネジメントシステム導入事業	担当部局	水道局
概 要	上下水道施設の状態を客観的に把握、評価し、中長期的な予測を基に計画的かつ効率的に施設を管理する手法を導入します。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

48

具 体 策 名	指定道路図等整備事業	担 当 部 局	建設局
概 要	建築基準法にかかる道路情報の公開に向け、地図データの整備を行います。本市の保有する建築基準法上の道路に関する情報を地図データとして整備します。また、「かごしまiマップ」により地図データを公開し、市民の利便性向上を図ります。		
指 標	・保有する道路情報のデータ化率	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

② ICTを活用した交通環境の充実

九州新幹線の開通により広域交通網の整備が一層進み、県内外からこれまでより多くの人が訪れ、効率性の高い交通機関が求められると想定されます。ICTを活用して、交通事故や自然災害時における運行指示の連絡体制強化や利用者への迅速な情報提供に取り組み、利用者の利便性向上を図ります。

49

具 体 策 名	新電車運行情報システム導入事業	担当部局	交通局
概 要	平成27年度の交通局施設移転に伴い、これまでの電車運行情報システムに対し、交通事故や自然災害等の緊急時における運行指示等の連絡体制を強化するとともに、それらの運行情報を利用者に迅速かつ正確に提供することにより、利用者の利便性向上を図ります。		
指 標	—	重点	<input type="checkbox"/> ICTの安心・安全な利活用の推進 <input checked="" type="checkbox"/> 情報発信の強化と双方向性の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 災害発生時等の対応力強化

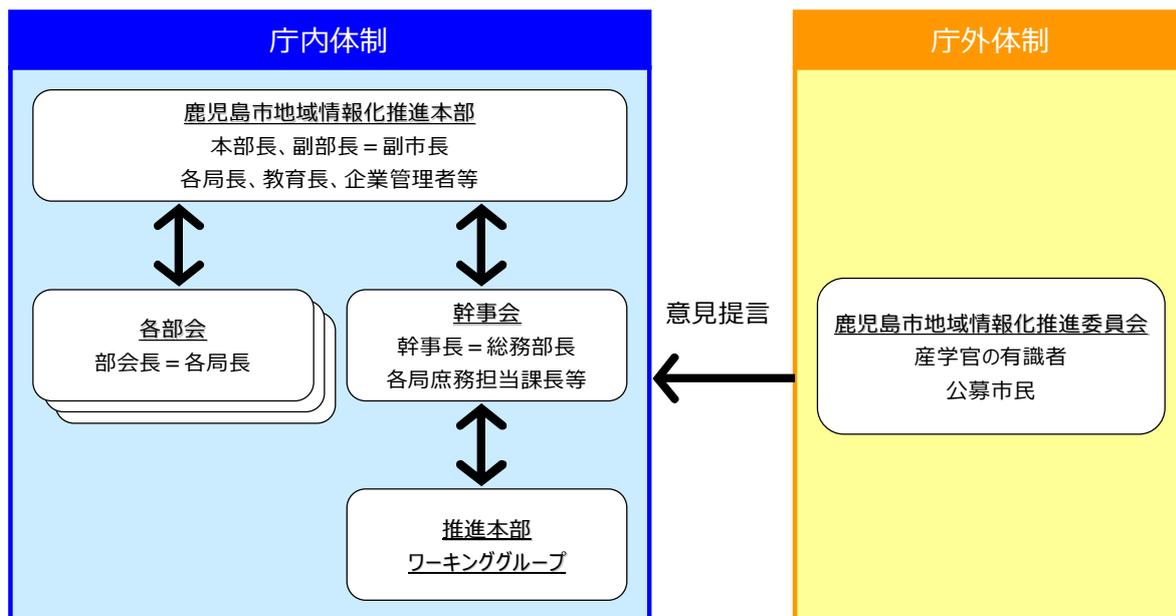
## 第4章 計画の推進

## 第4章 計画の推進

### 4-1 推進体制

地域情報化を着実に推進するためには、市民と産学官が一体となって相互に連携を取りながら計画を推進する体制と進捗状況をチェックする体制を確立することが必要です。本計画においては、庁内体制に加え、産学官の有識者や公募市民で構成された「鹿児島市地域情報化推進委員会」の意見や提言などを踏まえ、情報化施策を推進します。

図表 4-1：推進体制



### 4-2 計画の進捗状況の管理

本計画に掲げる施策や具体策の実効性を上げるために、PDCAサイクル (Plan: 計画、Do: 実行、Check: 評価、Action: 改善) に基づき、適切な進捗管理を実施します。

進捗状況は、毎年度、鹿児島市地域情報化推進本部会議に報告するとともに、鹿児島市地域情報化推進委員会において、各種施策の進捗状況や問題点等に関するご意見、提言をいただき、次年度以降の計画推進に反映します。

### 4-3 情報化施策推進の視点

ICTの活用によって多くの課題が解決され、市民の利便性向上や業務効率化を実現してきましたが、一方ではニーズの把握が不十分でその価値を発揮できていないシステムや費用に対して効果が小さいものなど、問題を抱えるシステムも見受けられます。

本計画では、情報化を推進する上で次の8つの視点に留意して、各施策を推進します。

#### ① 利用者の視点

情報化を行う目的のひとつは利用者の利便性を向上させることであり、利用者のニーズを十分に把握することが重要です。利用者のニーズを適切に把握してシステムを導入するとともに、それを活用できる環境を整備します。

② 費用対効果の視点

地方自治体の厳しい財政状況をふまえ、費用対効果を十分に検討し、より効率的かつ効果的にシステムを導入します。

③ 市民との協働・連携の視点

事業主体を安易に市単独とすることなく、市民や地域団体、NPO、事業者、大学をはじめとする研究機関、その他の公共機関との連携を図りながら進めます。

④ 共同化の視点

システム運用経費の削減や市民生活の利便性向上のために、国や県で提供しているシステムの導入など共同利用を検討します。さらに、人材育成や情報セキュリティ対策等における団体間の連携、協力等に幅広く共同して取り組みます。

⑤ 標準化の視点

国内外の標準化の動向に注意しながら、可能な限り国際標準、国内標準に準拠したシステムを導入します。共通に参照できるオープンな標準仕様や共通的な仕様、無償又は低コストで再利用が可能なプログラムがある場合には、これを活用します。

⑥ ユニバーサルデザインの視点

年齢、性別、障害の有無、国籍等によりICTの便益の享受に格差が生じないように、ユニバーサルデザインに配慮した機器やサービス等の導入を推進します。

⑦ 情報セキュリティ対策の視点

「鹿児島市情報セキュリティポリシー」に基づいて対策を推進し、特にICTの高度化に伴い技術的対策を一層強化します。

⑧ 環境配慮の視点

地球温暖化は急激に進行しており、温室効果ガスの抑制はすべての分野において緊急の課題となっています。ICTの分野においても、機器の選定やサービスの開発については、環境に配慮して行います。

## 第 5 章 資料編

## 第5章 資料編

### 5-1 計画の策定経過

開催日	議題
平成24年〇月〇日	
平成24年〇月〇日	

### 5-2 鹿児島市地域情報化推進本部設置要綱

### 5-3 鹿児島市地域情報化推進委員会設置要綱

鹿児島市地域情報化推進委員名簿

(50音順：敬称略)

氏名	所属	役職
萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授
森 邦彦	鹿児島大学学術情報基盤センター	センター長
宇都 由美子	株式会社かごしま医療ITセンター	代表取締役社長
江口 まさよ	公益社団法人鹿児島青年会議所	副理事長
興 武良	KCS 鹿児島情報専門学校	就職部 部長
門田 晶子	浏上印刷株式会社	代表取締役社長
紀 芳憲	株式会社日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査課長
寺園 直喜	鹿児島県企画部情報政策課	課長
中村 修	鹿児島商工会議所中小企業振興部	部長
久永 忠範	株式会社フォーエバー	代表取締役
吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役社長
大徳 かすみ	公募委員	
松野 広行	公募委員	

## 5-4 用語解説